※令和４年度以前入学生用

学校番号	２２０１

令和８年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２	年次	２～４
使用教科書	「高等学校　改訂　地学基礎」（第一学習社）						
副教材等	「改訂　ネオパルノート　地学基礎」（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちの身の回りには、地学の原理・法則に基づいた事象がたくさんあります。それぞれの事象がどのような地学の原理・法則で説明できるのかを知って、科学的な見方や考え方を養いましょう。また私たちも生物の一つの種であり、自然の中で生かされています。地学を通して自然と人間生活のかかわりを学び、自然とのかかわり方を考えましょう。

そして様々な災害に対する地球の環境と人間生活との関わりについても幅広く学習します。地学的な物事・現象に関する基本的な概念や原理・法則を学ぶことで、地球に興味をもつことができる科目です。

◎授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。

◎教科書準拠のワークを使いながら学習します。問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。家庭学習でもワークを進めてください。課題は定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。

２　学習の到達目標

①日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。

②地学の基本的な概念や原理・法則を理解し、観察・実験を通して科学的な見方や考え方を養い、考察したものを表現できる。

③目的意識をもって観察・実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	授業を通して地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、観察・実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	地学的な事象を実証的、論理的に考え、分析的・総合的に考察し、事実にもとづいて科学的に判断し、自己の考えを表現できる。	地学的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期または後期	第1章 地球のすがた	第１節　地球の概観 1　地球の形と大きさ 2　地球の形の特徴と大きさ 3　地球の内部構造 4　地球内部の動き 第２節　プレートの運動 1　プレートの分布と運動 2　プレートの境界 3　地殻の変動と地質構造 4　変成作用 5　大地形の形成	a:地球の大きさの求め方や、地球内部の構造について認識でき、地球表層や地球内部の運動についてその原理も含めて理解している。 b:地形の形成や地質構造についての図やグラフを判読し、地殻変動やプレート境界で形成される地形について、プレートテクトニクス理論を用いて統一的に説明できる。 c: 地球の形や構造、プレート運動によって起こる様々な地殻変動について関心を持ち、探究的に調べようとしている。	定期考査	定期考査	学習状況の様子 ノート、ワーク、プリント等の記述 観察・実験への取り組み ふりかえりカード 課題提出
	第2章 地球の活動	第１節　地震 1　地震の発生と分布 2　地震波の伝わり方 3　日本付近で発生する地震① 4　日本付近で発生する地震② 第２節　火山活動 1　火山の分布 2　火山の形成とマグマ 3　火山噴火 4　火山の形成 5　火成岩の形成 6　火成岩の種類	a:地震波や大森公式、世界や日本付近で発生する地震の分布や特徴について理解し、知識を身に付けている。 火山の形成過程や噴火のしくみ、火成岩の産状や種類について理解している。 b:地震分布に関する資料や地震発生時のデータ、火山分布の資料等を用いた実習を通して地下のプレートと関連させて考察することができる。 c:地震の起こるしくみや火山形成、地震・火山の種類や分布に関心を持ち、意欲的に探求しようとしている。			
	第3章 大気と海洋	第１節　地球のエネルギー収支 1　大気の構成と特徴① 2　大気の構成と特徴② 3　対流圏における水の変化 4　太陽放射と地球放射 5　地球を出入りするエネルギー 第２節　大気と海水の運動 1　エネルギー収支の緯度分布 2　風 3　大気の大循環① 4　大気の大循環② 5　海洋の構造 6　海洋の大循環 7　エルニーニョ現象とラニーニャ現象 中間考査	a:大気や海水の層構造について理解し、これにより起こる大循環や気象、大気のエネルギー収支についての知識を身につけている。 b: 高度別の気温や海面水温の分布、緯度ごとのエネルギー収支を示すグラフなどから地球規模の大気や海洋の動きの特徴を見出だすことができ、科学的に推定し説明できる。 c: 大気や海水の層構造を知り、天気現象がどのようなメカニズムで引き起こされるのか探究的に学習しようとしている。			
	第4章 宇宙と地球	第１節　宇宙と太陽の誕生 1　宇宙の探究 2　宇宙の始まり① 3　宇宙の始まり② 4　太陽の誕生 5　太陽の活動 第２節　太陽系と地球の誕生 1　太陽系の構造 2　太陽系の誕生① 3　太陽系の誕生② 4　太陽系の惑星 5　生命の惑星・地球	a: 宇宙の始まりや広がり、銀河系の構造について理解し、知識を身に付けている。 太陽系とそれを構成する天体についての知識を身につけ、天体の誕生から現在の姿までの成長過程を理解している。 b: 宇宙や太陽系がいかに長い時間の中で形成されてきたかを想像し、表現することができる。 地球や惑星の運動について科学的に思考することができ、太陽系の構成とその特徴について判断できる。 c: 宇宙の探究の歴史や太陽系の構成、各天体について興味を持ち、積極的に学習しようとしている。			

※令和４年度以前入学生用

	第５章　生物の変遷と地球環境	第１節　地層と化石 1　地層の形成 2　地層の重なりと広がり 3　堆積岩 4　化石と地質時代① 5　化石と地質時代② 第２節　地球と生物の変遷 1　先カンブリア時代① 2　先カンブリア時代② 3　古生代① 4　古生代② 5　中生代 6　新生代① 7　新生代②	a: 地層、堆積岩、化石などのでき方や観察方法の知識を身につけ、地質現象などと密接に関係していること、地球の歴史を説く重要な手がかりであることを理解している。 b: 地層の構造および堆積岩や化石を調べることにより、その土地や地球環境の変遷が推定できる。 c: 地形や地層、化石が作られた環境や原因を学び、地球の歴史を解き明かす方法とその特徴を知ろうとしている。	定期考査	定期考査	学習状況の様子 ノート、ワーク、プリント等の記述 観察・実験への取り組み ふりかえりカード 課題提出
	第６章　地球の環境	第１節　地球環境の科学 1　気候変動 2　地球温暖化による変化 3　オゾン層の変化 第２節　日本の自然環境 1　自然の恩恵 2　季節の変化 3　気象災害① 4　気象災害② 5　地震災害 6　地震による被害の軽減 7　火山災害と防災 期末考査	a:気候変動や日本列島におけるの成り立ちや、地殻変動や気象現象によって引き起こされる自然災害との関係を理解している。 b:地球環境の変化による人間活動の関わりを理解し、自分の考えを表現することができる。 気象観測データから日本の特徴的な天気の判読、や気象災害を予測することができる。 c: 日本の自然環境がもたらす災害と恩恵や地球規模で発生している環境問題に関心を持ち、意欲的に探求しようとする。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度